

平成 22 年度第 2 回倫理審査委員会報告

○ 目的

衛生研究所の職員が実施する調査、研究、実験及び実習等が研究対象者の人権配慮、研究内容の説明と同意等、倫理的配慮の下で適切に行われることを目的として、倫理審査委員会による審査を実施しました。

○ 開催日 平成 22 年 12 月 28 日 (火)

○ 倫理審査委員

委員長	前納 弘武	大妻女子大学社会情報学部教授
委員	守屋 利佳	北里大学医学部准教授
委員	尾坂 郭子	生涯学習インストラクター
委員	玉井 拙夫	衛生研究所所長
委員	田中 幸夫	衛生研究所副所長

○ 審査対象研究課題

平成 22 年度研究課題のうち、検査材（人体から採取した血液等の試料）を用いる 2 研究課題について審査を実施しました。

○ 審査項目

1. 研究によって生ずる危険性と学術上の成果の総合的判断
2. 研究対象となる個人又は検査材の提供者の人権擁護
3. 検査材の入手方法

○ 研究概要と審査結果

No.	研究概要	審査結果
1	VNTR 法による結核分子疫学調査の基盤構築及び推進 本研究では、保健福祉事務所と連携し、結核患者から分離された結核菌に VNTR 法による遺伝子型別を行います。集団感染事例のみならず散发例についても遺伝子型別を実施し、蓄積した型別データを、保健福祉事務所との解析結果検討会で共有し、感染経路・感染源の早期発見と感染拡大の防止に役立てることを目的としています。さらに、県域周辺地域とも解析結果の共有を試み広域データベース化を図り、本県の結核予防対策に役立てていきます。	承認
2	インフルエンザウイルスの薬剤耐性株に関する研究 本研究では、流行しているインフルエンザウイルスの薬剤耐性変異株の出現頻度、耐性株出現の年次推移、型特異的特徴を把握することを目的としています。A 型インフルエンザ分離株の M2 遺伝子のアミノ酸変異を調査し、アマンタジン耐性株の実態を把握します。また、A 型および B 型インフルエンザ分離株の NA 遺伝子のアミノ酸変異を調査し、ノイラミニダーゼ阻害剤耐性株の実態についても把握します。薬剤耐性株がどの程度市中で流行しているのかを把握することは、今後のインフルエンザ流行対策を考える上で、重要であり、通常の流行のみならず新型コロナウイルスによるパンデミック時の治療方針に影響を与える研究となります。	承認